

名経大通信

第7号

2003年9月30日

名古屋経済大学

<http://www.nagoya-ku.ac.jp/>

CONTENTS

- 特集1
p1.2 大学院栄サテライト
着実な歩み、5年目へ
- 特集2
p3.4 英語に強くなろう
その秘訣と体験レポート
- Local
p5 若い世代へ！犬山市長が語る
犬山オープンカレッジ日程
- Information
p6 内部告発の講演会は盛況
小木教授、愛知県の推進協会長に
愛知県の保育士指導者の研修

- Information
p7 情報交換に新システム
会計特別研究室を新設
科学研究費の交付決定
- Topics
p8 ジェンダーとスポーツのセミナー
新後援会長に柴田弘氏
留学だより
- Club&Seminar
p9 「エイサー」モスクワで熱演
名経祭 10月25日、26日開催
- Books&Author
p10 「日本知識人のアジア認識」
「21世紀日本の会計」「刑事判例の研究」



着実な歩み、開設5年目へ

名古屋経済大学大学院の栄サテライトキャンパス（名古屋市中区栄）は平成十二年度開設され、社会に開かれた大学院と高度な人材養成を目指し、着実な歩みを続けています。平成十六年度には早くも五年目を迎えますが、さらなる充実と飛躍を図るため、どう進もうとしているか。法学研究科長・若原紀代子教授と会計学研究科長・山本繁教授に現状と展望を述べてもらいました。



「大学院の入学相談会」十一月三十日（日）午後一時～三時、栄サテライトキャンパス



実務・専門の 能力養う

法学研究科長 若原紀代子

法学研究科は、「法学専攻修士課程」と「企業法学専攻修士後期課程」があり、中部地域では唯一の、企業法学を主体とした個性的な教育・研究を推進しています。充実した教授陣により展開される質の高い教育研究内容は、社会的に定評のあるところであって、本法学研究科の魅力の一つです。

とくに、修士課程では、社会で指導的な役割を果たし得る高度専門職業人の養成を主眼としています。多彩な講義科目と演習科目を開講して、幅広い視野と高

度の専門的学識を深めるとともに、演習問題を通して、法の機能と有効性を探求して、実務的な処理能力と問題解決能力を養います。

司法書士や国税専門官、公認会計士・税理士などの職業資格との関連を重視して税法関連科目を多数設けていますが、名古屋税理士会からの派遣講師による「税法実務研究」などは、他の大学院にはない、大きな特色です。

開講後、わずか三年半が経過したばかりですが、税理士資格など各種資格を取得したり（昨年度は公認会計士試験の合格者も出ています）、職務上必要な最新の法知識を修得して職場に復帰したりするなど、数多くの高度専門職業人を輩出しています。

大学院（栄サテライト）の魅力



多様な受験生に 対応して

会計学研究科長 山本繁

二十一世紀を生きるためには、「英語と会計学の知識・能力」が必要であるといわれています。この社会のニーズに応じて、当大学院会計学研究科は、二〇〇二（平成十四）年に中部地区唯一の会計学の専門分野に特化した大学院として、「受験しやすく、通いやすく、学びやすい」社会人向けの大学院を中心に設立されました。

そのために、第一に受験にあたっては、一般入学試験のほかに、社会人・職業人と特別入学試験を作り、

多様な受験生に対応した門戸を開いています。第二に、通学するにあたっては名古屋市中心部にある栄サテライトキャンパスを設置し、勤務先より交通便利なロケーションで開講しています。

第三に、学びやすくするにあたっては院生各自の都合に合った時間を利用して学べるように昼夜開講制の導入や夏・冬の休暇期間中に集中講義により短期間に学べるなど、院生の立場に立って、学ぶ喜びを提供する研究環境を備えた大学院として教育活動を行っています。

研究効果を高めるために、将来の目的に合わせて、公認会計士・税理士など会計職業人教育・再能力開発者向けの教育・研究者教育の三つのモデルに基づいて教育・養成を目指しています。

受験しやすく、通いやすく、学びやすい

税理士資格を取り、さらに研究者を目指して

大学院一期生(博士課程二年) 佐藤豊和さん

佐藤豊和さんは名古屋経済大学大学院の法学研究科一期生です。現在、博士課程二年生。三十三歳。商法研究者としての独立を目標としています。ここまで四年の体験に基づき感想を聞いてみました。大学院で何を学ぶか。

大学院に入った動機

「慶応の商学部を卒業し、東京の進学塾で教えていましたが、岐阜で会計事務所を開いていた父が死去しました。私が後を継ぐ決意をし、まずは税理士の資格をとるため、岐阜に帰郷し、名古屋経済大学大学院に入学しました」

大学院に入ってから

「名古屋経済大学大学院を選んだ理由の一つは、名古屋の都心にあり、岐阜から通えること。もう一つは知名度の高い先生方に教えてもらえることでした。順調に修士課程を修了し、税理士の資格を取得しました。ここで勉強しているうち研究者となることに魅力を感じ、博士課程に進みました。会社法を専攻し、会計に強い法律学者を目指しています」

大学院で学ぶ人たち

「私も含めて社会人が多く、二十代の後半から三十代が多い。様々な大学を卒業した人たちが集まり、大いに刺激を与え、また与えられています」

「法学研究科の修士課程では一期生、二期生で計二百七人が修了

し、この中の二十人以上が税理士として活動を始めました。会計学研究科修士課程は二年遅れてのスタートですが、特徴的なのは法学研究科の修了後、引き続き会計学研究科に入る人が多いこと。勉学意欲に燃えている表れです。博士課程には東京から通う方もいます」

大学院を志す人たちへ

「私はこの大学院でアカデミックな勉強を基礎から学びました。何よりも、しっかりと目標を持って入学することです。税理士を目指す人が多いけれど、税理士の世界も激しい競争がある

めいけい点描

Te C g



本学の大学院の栄サテライトキャンパスは久屋大通に面した青黒いビルです。総ガラス張りのビルが建てこむ中でやや地味な感じを与えていますが、その壁面をよくよく見ると、「青々作 1978」の銘板がはめ込まれています。

知る人ぞ知る鈴木青々(故人)作の大陶壁です。ひところは加藤瞬陶、河本五郎と並ぶ「瀬戸の三家」と呼ばれ、皇太子ご夫妻(現天皇)の訪問も受けたという

ことを認識してください。大学院は求めれば、与えてくれるところだから、確固たる目的意識を持つことが大切です」

大陶芸家でした。

「名古屋経済大学大学院」の看板は最頂部に掲げられ、路面から見上げなきゃならないけれど、青々の傑作をキズつけてはいけないという配慮なのです。

「デザイン都市宣言」、名古屋にふさわしい景観と思いますが、市の担当部局でも気がついていないのでは? 作品名は不明ながら、わがサテライトの誇れるシンボルです。



酒巻セミで研究発表する佐藤豊和さん

英語教育センター

大いに活用しよう

「名経大通信」第六号でお知らせしたように、本学では四月から「英語教育センター」を開設しました。大学、短期大学のすべての学生を対象にして、正規の授業以外に特別講座を設けて英語の課外授業を行っています。

現在、英検スコアアップ講座 海外旅行のための英会話 留学生のための入門英語の三講座を続行中です。本館一階の「英語教育センター」で、英語の力をつけるための相談を受け付けていますから積極的に利用してください。

これを機に、同センター長の西村賀子法学部教授から「英語に強くなる秘訣」の一文を寄せてもらいました。

また、カナダに留学、今も大学院で学ぶ山口賢一さん（平成七年、経済学部卒業）と、米国留学の後に同国で就職した梅村淳子さん（平成九年、短大英語科卒業）には現地から体験レポートを送ってもらいました。後輩が発奮興起するよう、お二人の成功、活躍を願いたいものです。

英語に強くなる秘訣

英語教育センター長 西村賀子

「英語ができたらいいなあ...」
という思いをただの夢に終わらせて
いていい時代はもう終わりました。

英語ができれば英語圏の人々と
意思の疎通を図ることができま
す。英語の利点はそれだけではあ
りません。企業活動や文化交流が
世界的な規模で拡大している現代、
世界共通の言語としてもっとも有
益なのは、なんといつても英語で
す。中国や韓国などのアジア諸国
やアフリカ、中南米、ヨーロッパ
の人々とのコミュニケーションに
も、英語はいまや欠かせない道具
です。

「英語の重要性はわかってるよ、
だけど、なかなかできるようにな
らないんだよね」という悩みを抱
えているのはあなただけではありません。
どうしたらできるようなるの
のでしょうか。英語力をつける
ためのちょっとしたヒントがこ
こにあります。

大学の授業をフル活用しよう！

せっかく大学という学ぶ場にい
るのだから、授業を一〇〇%活用

しない手はありません。卒業に必
要な単位だけで英語を終わりにせ
ず、さらに継続的に履修しましよ
う。自分の到達度にあつたクラス
を選び、積極的に授業に参加すれ
ば力がつきます。

課外講座をうまく使おう！

英語教育センターが開設してい
る課外講座を自分のニーズに合わ
せて気軽に受講しましょう。たい
てい少人数なので質問も気楽にで
きます。しかも無料というところ
がうれしい。

パソコンを使って学ぼう！

パソコンを使ってTOEICの
勉強ができます。英語教育センタ
ーに申し込み、情報センターや自
宅のパソコンでわずかな時間でも
有効にマイペースで自習しましよ
う。また、無料で学習できるサイ
トも授業や英語教育センターで紹
介しています。

TOEIC試験に挑戦！

TOEIC高得点を新卒採用

時に要求する企業は、近年どん
どん増えています。エントリー
シートに「TOEIC四五〇点」
と書けるようになれば、就職戦
線を有利に突破できること間違
いなし。

毎年十一月の学内試験を一年生
から受け続けられ、三・四年生で
目標達成も夢ではない！おまけ
に、四〇〇点を越えた学生には図
書券を進呈します。

なんでも英語教育センターに相
談する

「夏休みにNYの英語学校に行
きたい」、「留学って憧れ!」、「ホ
ームステイ、体験してみたいなあ」
そんな願いを抱いている人は英語
教育センターで相談しましょう。
あなたの不安が挑戦に、希望が現
実に変わります。

最後に、英語に強くなる最大の
秘訣は「継続は力なり」です。ど
んな語学学習においても真理であ
るこの諺(ことわざ)を忘れずに、倦(う)まずた弛(ゆる)まずこつこつ勉強しましょう！

海外生活で英語と向き合う

カナダ在住 山口賢一さん

経済学部・平成七年卒業



私は受験英語に苦しんだ一人でした。中学・高校・大学を通して特別に英語の勉強をしたことも、特に英語の授業で良い成績を残した記憶もありません。

大学院に進学しようと思っていた私は、名古屋経済大学最後の夏休み全てを大学院受験英語の勉強に費やしました。しかし、難解な英文を読み進むにつれ、語学の基本はコミュニケーションにあるのではないかと思いついた。当時の暗号解読のような自分の学習方法に疑問を感じ始めました。元来、考えるよりも先に行動してしまう性格の私はコミュニケーションの場を求め、一年限りのつもりでカナダへ留学する決心をしました。

留学当初は毎日がトラブルの連続でした。カナダ到着日にホスト・ファミリーが出迎えを忘れたため、見ず知らずの方にホームステイ先まで送って頂いたり、車の一旦停止標識をバスのストップ・サインと思い、来るはずのないバスを待っていたり。学校では先生や他の留学生が話すことを理解できない、あるいは聞き間違ってしまうのは日常茶飯事でした。私に通ったのはサスカチュワン州立リジャイナ大学。まず語学コースに入

苦勞乗り越え自信つく

りました。宿題は徹夜をしても終わらず、能力不足を恥ずる時期もありましたが、苦勞を乗り越えるたびに自信をつけ、英語という道具を通して色んな人とコミュニケーションができる喜びを知りました。語学コースを卒業する頃には間違いや知らないことを自覚するのは向上への近道だと思い始めました。学生の現状学力を評価するよりも向上する努力を励ますプログラム体制が良いと思います。

この学び喜びとチャレンジ精神が、私にカナダでの大学院進学を決心させました。大学院では、授業で学ぶ以外にも色々求められます。また、大学院生は補助教員と見られ、学部生に授業を教える機会が与えられます。教授のリサーチ・プロジェクトに参加したこともありました。

カナダに来て九年目。現在でも語学の不自由さを感じ、外国語で修士論文を仕上げる難しさを実感しています。しかし安易に日々を過ごすよりも、常に自分に課題を与え、挑戦することの方が楽しいと私は信じています。「若いうちの苦勞は…」などと偉そうなことを言うつもりはありません。在学生の皆さん！自分に合ったチャレンジの対象・方法を見つけ、楽しく有意義な人生を歩んで下さい。

米ミシガン州在住 梅村淳子^{あつこ}さん 短大英語科・平成九年卒業



私は一九九七年の三月末からアメリカに在住しています。留学のきっかけは短大一年生の時に参加した四週間のカナダ語学研修でした。その頃は本当に片言しか話せなかったのですが、英語を話せれば、違う国の人たちとコミュニケーションをとれるのだと気づき大変興味を持ちました。

研修後、英語の勉強に力を入れるようになりました。“an home”と“a house”の区別もつかない有り様だったので、英文法は基礎の基礎からやり直しました。英語のカセットテープをウォークマンに入れて通学中に聞いたり、英会話教室に通ったりしました。留学に向けて勉強するうちに語学学校だけでなく米国の大学を卒業したいと考えるようになりました。

短大二年間で準備して渡米したつもりでしたが、アメリカ人に私の英語がなかなか通じませんでした。特にホストマザーには全然通じませんでした。紙に書けば通じたので発音がものすごく悪かったのが原因でしょう。それでもホストマザーは私の言おうとすることを熱心に聞いてくれましたし、発音も直してくれました。

大学に入ってから、アメリカ人学生の早口にはついていけないし、教科書一

基礎の基礎から出発

ページ読むのに一時間近くかかるし、途中で専攻を変えたこともあり、結局卒業するのに四年近くもかかってしまいました。

アメリカ生活で一番苦労したのは就職活動です。よっぽど日本に帰ろうかと思いましたが、どうしてもアメリカでの職歴をつけたかったので探し続け、現在の旅行会社に入社できたのは本当に幸運でした。仕事は旅行業務一般や広告づくりなどです。アメリカ人に「あなたの言っていることわかんない！」と電話口で言われ落ち込むこともありましたが、ネイティブの手厳しい意見にさらされるのも時には必要なのではないでしょうか。

アメリカに六年以上いますと、短大の頃に描いていた理想とはずいぶん違うなあと感じます。特に同時多発テロやイラク戦争があり物騒な世になったものだと思います。しかし、そういうマイナスの側面もひっくり返るめてアメリカに来て良かった。言葉も文化も違う国で奮闘するうちに英語だけでなく、自分で行動することの大切さと周りの人たちがサポートしてもらったありがたさの両方を学ぶことができたからです。

ただなんとなく生きていくのではなく、何かに向かってがんばるといふ姿勢を学んだこともアメリカ留学で得た大切なこととです。

政治・若い世代・大学 石田犬山市長が語る



地域と大学の相互発展のために
本学と交流協定を結んでいる犬山
市の石田芳弘市長がこのたび『君
も市長になれ』を出版されました。
若い人たちに生き方について示唆
を与える内容の本です。近頃、考
えておられることなどを石田市長
に語ってもらいました。

『君も市長になれ』という本の題に
惹かれます。

政治をやっている、投票率がも
のすごく大事だと思います。こん
な平等な権利はありません。とこ
ろが、投票率を調べると、選挙に
よって多少の違いはありますが、
二十代は二〇%、三十代は三〇%、
四十代は四〇%でね、七十代は七
〇%。これでは日本の政治構造が
老人の政治構造ですよ。日本の政
治が二十代の人に期待されていな
いということですよ。原因は、われ
われ政治をやる側にあり、長い将
来性のある人を引き付ける政治を
やっていないわけですよ。

私は、市長インターンシップを
やったりして、二十代の人
に意識的に近づきました。
そうしたら、見識もあり、
判断力や直感力を持ってい
る。だから、本気で自分の
考えを伝えたいという気持

ちを込めて本を書き、『君も市長に
なれ』とつけました。

世間では、若い人が政治に積極
的に出ることを望んでいますよ。
僕の勘では、二十代で、地方政
治にその気になって立候補した
ら絶対に票を取るという予感が
しますね。被選挙権を得る二十
五歳でどんどん参加してほしい。

個人的なメモ（議会の感想とか）
も公表されていますね。

毎日ちよつとずつ書いて、支援
者に送っています。情報を出さな
いと、情報は入ってこない。ただ、
情報の出し方は、ハイリスク・ハ
イリターンです。反発を受けるよ
うな情報を出せば必ず情報が返っ
てきます。情報を出すことによっ
て、世間の風向きがわかりますね。

新著には「ベルガー・マイスター」
（市民の先生）という言葉がよく出
てきます。

自分のイメージの中で、理想の
人物は孔子ですね。孔子は人類の
教師と言われていますが、政治家
でもある。古代社会では、西洋で
も東洋でも、政治をやった人は指
導者であり、教育者だったんです
よね。そういうイメージを政治家
に持ち続けたいと僕は思っていま



『君も市長になれ』は
本学コミュニティープラザの
丸善書店にあります。

す。西郷隆盛のような、人格で仕
事をやってきた政治家は好きです
ね。徳で治めていく政治家であり
たいし、めざしたい。ドイツに行
った時に、「市長」のことを「ベル
ガー・マイスター」と表現する言
葉の意味を知ったのですが、犬山
市民のベルガー・マイスターにな
りたいという気持ちです。

若い本学の学生にメッセージをお
願います。

政治家として、市長になりたい
と思つたのは、自分の生まれて育
つた町に対しての愛情です。自分
の属していた共同体には愛情を持
たなければいけません。名経大に
学ばれた人は、学校そのものを自
分の人生の中で位置づけ、母校愛
を忘れないようにしてほしい。学
んだ学校は大事にしないと、いけ
ないと思っています。そして、学ば
せてもらったという母校に対して、
恩返しをしなければなりません。

2003 犬山オープン・カレッジ 公開講座

この本は、自分の出た大学の時
の話から書き出していますが、大
学は今の人生にもすごく影響を
与えてくれていきます。振り返つて
みれば、一つの運命としてその大
学にお世話になつて、それは恩返
ししたいという気持ちですね。
二十代の人から、政治の中に入
つていく、具体的に職業として政
治を選択する人が一人でも多くな
ってほしいですね。名経大にイン
ターンシップを指名してやつても
らうのもいいですね。

第一回 九月二十七日（土）
スウェーデン学入門

代田義勝（短大部助教授）

第二回 十月二十六日（日）
冷静と情熱のあいだ

イギリシヤへの眼差し
西村賀子（法学部教授）

第三回 十一月十五日（土）
くらしとWW技術

末岡 仁（短大部講師）

第四回 十二月十三日（土）
発展する中国雲南省の実情

後藤 基（短大部助教授）

「会場」一・三・四回が犬山国際観光
センター（フロイデ）

二回目のみ本学七号館「当日は大学祭
に当たり、参加者に食事券を進呈しま

す。

「時間」毎回午後二～四時

内部告発に関心深く、大盛況

消費者問題研究所の講演会

内部告発と消費者問題をテーマにして、本学の消費者問題研究所主催の第二十三回公開講演会が六月二十五日、名古屋市中区の名古屋カールデンパレスで開かれました。

内部告発という注目を集めている問題に一般の関心が深く、大ホールは満席となり、また当日の模様を朝日新聞が取材して特集記事を掲載し、かつてないほどの反響で成功しました。

辻本興慰所長（経営学部教授）が進行役。『内部告発の時代』の著書もある宮本一子氏（日本消費生活アドバイザー・コンサルタント協会・消費生活研究所長）が「公益通報者保護法案」の意義について説明しました。

その要旨は「内部告発は社会システムや文化の大きな変革だ。企業というピラミッド構造に大きくさびを打ち込む。しかし検討されている内容は消費者利益が限定されるなど、

理想的な制度には程遠いので修正に期待したい」というものです。

宮本氏の報告を受け、パネラーの萩原俊彦経営学部助教授は「内部告発関連法の作成には法律家以外の者も参加し、柔軟性のない縦割り法とならないようにすることが望まれる」と発言。木全敬止経済学部助教授は「昨今の経済事情から企業は利潤追求を優先させ、問題を偽装・隠蔽する傾向が見受けられる」と指摘しました。この後、「一般参加者とパネラーとの間で活発な質疑応答が交わされました。」

愛知県食の安全・安心推進協議会会長に 小木教授が就任

一昨年来、BSE（牛海綿状脳症）の発生、食品の偽装表示、輸入野菜の残留農薬基準違反、指定外添加物の食品等への使用、輸入ダイエット用健康食品による健康被害など、食の安全をゆるがす問題が相次いで発生しました。こうした問題による県民の不安を解消させるため、県は知事を本部長とする「愛知県食

の安全・安心推進本部」を平成十四年九月に設置、併せて食の生産から消費に至るまで県の施策に反映させることを目的に県民各界を代表する有識者による「愛知県食の安全・安心推進協議会」が本年五月に発足。本学経済学部の小木紀之教授（消費者政策）が会長に就任しました。

同協議会は発足以来、「あいち食の安全・安心推進アクションプラン」の作成に取り組んできましたが、全国自治体に先駆けるかたちで、

このプランを愛知県側に提出。県はこのプランをもとに県民の食の安心・安全確保をめざすことになりました。アクション項目は二十六項目。農産物・畜産物のトレースビリティシステムの導入、輸入食品を含む食品等の安全検査、食品表示ウォッチャーを任命し、食品表示が適正であるかどうかをチェックする等、具体項目を掲げています。小木教授は「この協議会が県民にとっての地域型食品安全委員会になるよう努力したい」と決意のほどを語っています。

愛知県内の保育士が本学で指導者養成研修

平成十五年度愛知県現任保育士指導者養成研修（園長・主任コース）が名古屋経済大学短期大学部で七月一日から十月二日までの日程で行われています。

今回は、尾張地域二十二の自治体から二十七名の保育士が参加し、研修生は期間中、今日的なテーマである対人援助技術論など二十科目の研修を受けるほか、各自が設けた研修テーマによる「主題研究」レポートをまとめることになっています。

研修生で本学OGの小川洋子さん（小牧市立本庄保育園主任）

は、「母校での研修は刺激を受けることができると楽しみにしています」と話していました。講師陣には、本学からは短期大学部保育科伊藤健次教授（障害児保育）ら六名が参加しています。

この十一月には、引き続き中堅コースの研修が本学で行われることになっています。



コミュニケーションスクエアで情報機能高まる

Communication

Square



本学総合情報システム（MELL OS）に新しいシステム、コミュニケーションスクエアが加わり、このほど稼働を始めました。

これは、教職員や学生が互いの情報をインターネット上で共有して豊かなキャンパスライフを送ることをめざすツールです。現在は、予定表と掲示板の二つの機能を主に提供しています。

予定表は、特定のグループメンバーと情報共有したい人が自分でのスケジュールを登録する機能で、電子手帳がわりに使うこともできます。また、大学と短大の会議予定も随時登録されており、インターネットのどこからでも閲覧できるようにしています。

掲示板は、本学の教職員と学生がグループ内で意見交換やファイル共有をおこなう電子会議室です。グループ以外の人が掲示板の内容を閲覧することはできません。発言記録がデータベース化されますので、メンバーであれば誰でも、いつでも過去にさかのぼって閲覧できます。現在、全ゼミに対して掲示板が設けられ、ゼミの活性化や卒論指導などに活用されています。

予定表や掲示板は、インターネットからアクセスできますので、いつでも、どこからでも自分や他人や組織の予定を確認し、グループメンバーと情報交換することができます。実際、私は会議予定のチェックや就職活動や、卒業研究に忙しい四年生とのコミュニケーションで大いに助けられています。

コミュニケーションスクエアにアクセスするには、IDとパスワードが必要です。活用の仕方については学内LANから閲覧できる情報センターのメニューに解説ページを用意しています。掲示板の新設を希望される方やツール利用でお困りの方は、情報センターまでお問い合わせください。

情報センター副センター長

経営学部助教授 中西昌武

専門職の育成を目的に 会計特別研究室設置

本学学生を対象に、将来会計専門職業人（公認会計士、税理士、国税専門官、企業や官庁（公務員）における経理的・税務的知識・技能を有する専門職）の育成を目的に本年（二〇〇三年）四月「会計特別研究室」が設置されました。

この研究室には、原則として日本商工会議所簿記検定二級以上を取得している学生で、本研究室の講義（週二回）および学業に真剣に取り組む者なら学年や学部を問わず入室することができます。

本研究室は二年半のプログラムで、まず税理士試験の簿記論に合格することを目指し、次いで簿記論合格者には財務諸表論の受験指導を行います。

本学の大学院には、法学研究科と会計学研究科が設置されています。会計特別研究室での学習と学部での教育をふまえ、さらに大学院では、より高度の会計学、簿記論、税法、企業法などの専門的知識を体系的・総合的に修得する道が開かれています。これは他大学には見られない本学の特色といえます。

現在、会計特別研究室には八名の室生（三年次一名、一年次一名、一年次六名、うち女子四名）がいます。室生は、税理士受験向けの指導経験豊かな本学専任教員による指導のもと、熱心に勉学に取り組んでいます。

経営学部長 丸山祐一

水田教授らに交付決定 今年度科学研究費補助金

国の研究費の柱となる平成十五年度科学研究費補助金の交付対象者がこのほど決まり、名古屋経済大学では日本学術振興会の基礎研究部門で水田珠枝経済学部教授を代表とする「二十世紀初頭のラディカル派フェミニズムの再考 日米欧の比較研究」が選ばれました。

この研究分担者には吉田啓子短大教授らも加わり、平成十七年度までの三年間交付されます。

また、十四年度の文部科学省の若手研究部門に選ばれた園田正経済学部講師の「日本稲作農業における労働の異質性および市場不完全性 非入れ子型検定による検証」については十五年度も継続交付されることになりました。

「ジェンダーとスポーツ」 セミナーを企画して

私の所属する東海体育学会は「ジェンダーとスポーツ」の研究セミナーを六月二十一日に名古屋市内で開催しました。私はこのセミナーの企画と司会進行に当たりました。

体育・スポーツでは、生物学的な性（セックス）と社会・文化的に作られた性（ジェンダー）の二重の性に絡みとられて女性が排除され、男性中心の文化とされた歴史があります。また、スポーツに多大な影響を与える昨今のメディアにも、時代を超えて性差別の問題が看取れます。

そこで、セミナーではまず、「キーワード」ともいべき「ジェンダー」についての共通理解を持つために「ジェンダーとは何か」を本学の水田珠枝教授が行いました。その後、「体育・スポーツにおけるジェンダーをどのようにとらえるか」「社会科教育におけるジェンダー・フリー教育推進の実践」「競技スポーツにおけるジェンダー」日本陸上競技連盟セクシャルハラスメント・ガイドラインをめぐって」のテーマで三名のシンポジストが問題提起をしました。

参加者は、大学・高校・中学・小学校の教員、大学

院生、大学生などで、東京・大阪からも含めて約五十名でした。予定より三十分延長し、フロアとの熱心な質疑応答には関心領域の広がりを感じられるセミナーでした。

本学の体育教科では、ごく当たり前にジェンダー・フリー教育が推進されています。男女のかかわりなく、その個性と能力を十分に発揮できるような身体的自由を教科目標の一つとする本学の体育教育の実践は、二十一世紀の豊かな社会の実現に寄与するものと考えています。

法学部教授 庄司節子

名経大後援会長に

柴田 弘氏

「主役は学生です」と挨拶

名古屋経済大学・短期大学部後援会の平成十五年度総会は五月三十一日開かれ、山下慶一郎氏に代わる新会長に柴田弘氏（城北自動車学校取締役社長）が選ばれました。

柴田会長からは次の就任あいさつをいただきました。

「このたび、平成十五年度総会において名古屋経済大学後援会長を拝命いたしましたので、ご挨拶申し上げます。

後援会は、大学・短大の事業を後援し、家庭と大学の連絡を緊密

にし相互の親和を図り、学園の発展と教育の効果を挙げるための事業を行ってまいります。

昨今、社会や経済が混迷する中で、就職への道は一段と厳しくなっています。親として子どもたちにとどのようなアドバイスをしてやるのか。後援会としては、この緊要の問題に対して、学校あるいは先生方と協議を重ね、どのようなバックアップができるのかを考えてまいりたいと思います。

いずれにしても、主役は学生たちです。その学生たちが大いに興味を持ち、意欲を持って在学中に一つでも多くのことを学び、一つでも多くの資格を取得してもらいたい。後援会は、学園とタイアップして、学生のこうした力量の形成を応援していかなければなりません。

前会長の山下慶一郎氏の永年の業績と熱意に敬意を表し、そのお気持ちを引き継いで後援会のさらなる発展に取り組んで参りたいと存じます。今後とも皆様の一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。



前後援会長 山下氏
末岡本学学長
現後援会長 柴田氏

留学だより

中国・福州に来て

経営学部教授 柴田良一

大学の留学制度を利用して、私は中国福建省の省都・福州市にある福州大学にきています。福建省は日本では烏龍茶と蛇頭で有名ですが、古来から日本と関係の深い地域です。その一つ、遣唐使として空海が最初に上陸したのが福州市にある開元寺です。晴れた日には福州の海岸から台湾を望むことができるほどの距離です。亜熱帯気候に属し、冬がありません。福建省は三方を山に囲まれ、古代から海外との結びつきが大変強いため、広東省とともに「華僑」の故郷と呼ばれています。

福州は閩江の河口に開けた古くからの港町です。市街地には約二百万の人たちが暮らし、都市の大きさとしては名古屋と同じくらいです。福州も至る所でオフィスビルや高層住宅ビルが建設中です。これを見ただけで中国の活気が感じられます。

日本企業が約五十社進出し、留学生を含めて約三百人の日本人が暮らしています。この数は北京や上海と比べると少ないですが、生活してみると、ほど良い都市の大きさで暮らしやすい所と思います。

モスクワで公演

津梁エィサー部、名声高く

名古屋経済大学の「津梁エィサー部」は九月六、七日、ロシア連邦のモスクワ市で開かれた「第三回フェスティバル in モ

スクワ」の参加団体に選ばれ、源河徳人君（経営学科四年）ら八名の学生が公演しました。ロシアで日本文化を紹介し、市民交流を目指すため、東京新聞などの主催、外務省後援で行われるようになった催しです。今年度は舞台部門では日本舞踊、創作バレエなどとともに八団体の中に琉球伝統芸能として「津梁エィサー」が加わりました。国立マールイ劇場での公演のほか、赤の広場やポリシヨイ劇場前の特設ステージでも沖縄芸能の太鼓を打ち鳴らし、人々の目を集めました。



「いろんな人に知ってもらいたい」と三年前にスタートさせた課外活動が海外で披露されるなど、皆が思いもしないことでした。

（写真は中日新聞社提供）

「双六祭」改め「名経祭」に

10月25日・26日開催

通算二十四回目となる本学の二〇〇三年度大学祭が、来る十月二十五日（土）、二十六日（日）に開催されます。昨今、各大学では、学生の自主的取り組みとしての「大学祭」は低調気味と言われていますが、本学の大学祭は、昨年度にまして盛大に開かれる機運です。

本年度は、「良い伝統を残しながら、学生一人一人のための大学祭」をスローガンに掲げ、総勢十九名の大学祭実行委員が奮闘中です。

これほど大学祭が盛り上がる秘密は何でしょうか。それは、「よい大学を作っていく、充実した大学生活を」という学生たちの熱い思いと、それに応えて、教職員が学生と共によい大学を創っていくというバックアップ体制です。

とりわけ短期大学部においては、昨年度から教授会の承認のもとで

「大学祭プロジェクトチーム」が設置されました。これは、学生委員担当者の提案によって実現したもので、クラブ活動や学生行事の活発化を支援するための活動を行います。今年度は、二十六名の教員がこのチームに参加しています。

現在は、名経祭に関する相談に応じながら、ゼミ・クラブが参加できる企画等について、学生と合同で検討しています。また、プロジェクトチーム独自の企画を立案するなど、名経祭を成功させるための力になりたいと思います。

今年度の「名経祭」実行委員会は、意気込みが強く、学内外を走り回っており、その取り組み状況は、教授会でも適宜報告されています。どうぞ、学生の一年間の学習・活動の成果をおさめた今年の「名経祭」をご期待ください。

短期大学部商経科助教授 後藤基

学生自治会執行委員（平成十五年度）
委員長 今村伊久美（経営学部二年）
副委員長 中川陽介（経済学部二年）
書記 花城可光（法学部二年）
会計 福井春菜（経営学部一年）
※任期は平成十六年六月まで

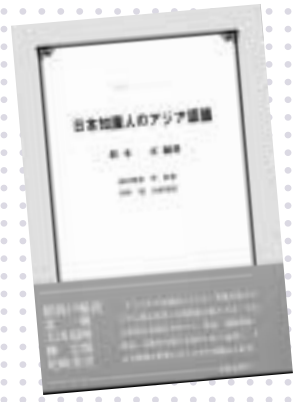
訂正 前号掲載の本学同窓会長・山田拓郎さんのプロフィール中、「参議院議員選挙事務所勤務」は、「参議院議員選挙」に、「代議士秘書」は、「衆議院議員選挙候補者秘書」に訂正します。

新

刊

「日本知識人のアジア認識」

鈴木正編著、高田豊實、李彩華、田中収、山田英彦著



「北樹出版」

明治、大正、昭和 本書ではナショナルな視点に立つて、多彩な形でアジアに関心を持った思想家を取り上げています。今日の状況を念頭に置きつつ、革命、国際関係、政治、芸術などの様々な切り口から論及し、人物像を浮上させています。

「序 日本人とアジア

過去と現在の視点から」

鈴木正

「新渡戸稲造の武士道論の射程」

高田豊實

「北一輝のアジア主義と中国」

李彩華

「大川周明のインド観」

田中収

「柳宗悦の『悲哀の美』論」

山田英彦

「尾崎秀実の『東亜共同体』論

鈴木正

執筆五氏は本学の学術研究センターの一翼を担っている「比較文化研究会」のメンバーです。山田先生は昨年亡くなり、高田短大教授、李経営学部助教授が新たに加わりました。

編集後記にはこう書かれています。「（執筆者の）世代のちがいが、民族のちがいを含めて価値意識による内在的・外在的批評の辛さもちがっている。本書は当然のことながら対象への理解度の深淺によって解釈の当否が試される開かれた性格のものである」

なお、本書は一九九三年に北樹出版から刊行された『状況の中の思想』を継ぐものです。

山本繁（大学院教授）編著

「21世紀日本の会計」

「税務経理協会」

二十世紀末に「会計ビッグ・バン」「会計革命」「会計改革」などといわれ、短期間のうちに、わが国の会計の制度やルールなどが根底から変えられています。

例えば、財務諸表が 単体から連結へ逆転 にみられる、いわゆるグローバル・スタンダードへの

調和化・統合化への試みでありま。一部では会計ビッグ・バンが終わったといわれています。決して終わったのではなく、まだまだこの改革は続いていると思います。

グローバル・スタンダードといわれる「国際会計基準」はすでに四十一の会計基準を公表していますが、今回導入された会計基準は七つに過ぎず、これからも「会計ビッグ・ウェーブ」が襲ってくると思います。それにもかかわらず会計学は、むしろ軽視され、理論的に、実践的にも急激な変化に対して遅れをとっています。

最近のアメリカでは、エンロン事件・ワールドコム事件が、わが国でも雪印食品事件など多くの相次ぐ会計不正・隠蔽事件などの反社会的な企業行動が企業破綻・倒産に至っています。このような変化の時代に、何が変化し継承されていくのか、今後どのように展開するのかを見極めることが大切です。会計にたずさわる者としての社会的責任ではないかとさえ思います。

そこで本書は、二十一世紀を迎え、わが国の会計がどう変化していくのか、それぞれの立場から少しでも前向きな答えが見出されるならばと企画しました。わかりや

すく、かつポイント・課題を端的にと欲張った企画です。第一部が「会計ビッグ・バン」を理解する財務諸表の基礎知識から、第二部が「会計ビッグ・バン」による課題の解明へ、第三部が「会計ビッグ・バン」の及ぼす影響を考察して課題の解明へと展開しました。

（この紹介文は山本繁教授の序文から引用しました。執筆には名古屋経済大学の佐藤敏昭教授、伊藤俊雄教授も加わっています）

井上祐司（名誉教授）著

「刑事判例の研究」

全二冊

「九州大学出版会」

これまでに発表してきた論稿をまとめた。私の論作集としては、おそらく最後のものとなる。

扱われているテーマは「安楽死の要件」、「リーガル・マインド」、「性表現の今日的考察」、「尊属殺の合憲性」、「水俣病控訴審判決」など幅広くに及んでいる。

「監督者の刑事責任」、「米兵ひき逃げ事件」、「不作為の放火」などにおけるとらえ方に論稿の特徴があるといえよう。

（井上名誉教授の「はしがき」を参考にしました）



**名経大を知りたい！
高校生と父母が大勢来学**

本学を体験して 高校生に呼びかけて開いたオープンキャンパス。7月27日、8月24日のいずれも日曜日。参加者は昨年を上回り、父母と一緒に模擬講義などを見学し、学部ごとの受験相談コーナーには列ができた。

夏のスケッチ



**自然を満喫！
保育科の野外体験型授業**

7月27日から30日まで、新潟県赤倉温泉で「レクリエーション指導法」を開講。妙高高原でのウォークラリー、野尻湖でのカヌー体験、郷津海岸での造形遊びなど、参加した学生は夏空の下、気持ちのいい汗を流した。



平成16年度 入学試験要項

名古屋経済大学

設置学部・学科：経済学部 / 現代経済学科 経営学部 / 経営学科 法学部 / 法学科

出願期間・試験日・発表日

区分	出願期間(最終日消印有効)	試験日	合格発表日
一般推薦試験 資格推薦試験	11月 1日(土)~11月 5日(水)	11月 8日(土)	11月10日(月)
自己推薦試験	11月25日(火)~12月 2日(火)	12月 6日(土)	12月11日(木)
学力試験	平成16年 A日程 1月13日(火)~ 1月27日(火)	自由選択 試験日 2月1日(日) 2月2日(月) 2月7日(土) 2月8日(日)	2月 5日(木) 2月11日(祝)
	B日程 1月13日(火)~ 2月 2日(月)		
	期 2月12日(木)~ 2月19日(木)	2月24日(火)	2月26日(木)
センター 利用試験	前期 1月13日(火)~ 2月 2日(月)	本学独自の 個別試験は 実施しません。	2月11日(祝)
	後期 2月23日(月)~ 3月 8日(月)		3月13日(土)

印:学力 期試験は、学外試験場でも実施します。

学外試験場(学力 期)		
	A 日程	B 日程
栄	2月1日(日)2日(月)	2月7日(土)8日(日)
浜松	2月1日(日)2日(月)	—
津	2月1日(日)	—
金沢	2月1日(日)	—

名古屋経済大学短期大学部

設置学科：現代コミュニケーション学科 / 商経科 / 生活文化学科(生活文化専攻・食物栄養専攻) / 保育科

出願期間・試験日・発表日

区分	出願期間(最終日消印有効)	試験日	合格発表日
一般推薦試験	11月 1日(土)~11月 5日(水)	11月 8日(土)	11月10日(月)
自己推薦試験	11月25日(火)~12月 2日(火)	12月 6日(土)	12月11日(木)
学力試験	平成16年 A日程 1月13日(火)~ 1月27日(火)	自由選択 試験日 2月1日(日) 2月2日(月) 2月7日(土) 2月8日(日)	2月 5日(木) 2月11日(祝)
	B日程 1月13日(火)~ 2月 2日(月)		
	期 2月12日(木)~ 2月19日(木)	2月24日(火)	2月26日(木)
センター 利用試験	前期 1月13日(火)~ 2月 2日(月)	本学独自の 個別試験は 実施しません。	2月11日(祝)
	後期 2月23日(月)~ 3月 8日(月)		3月13日(土)

印:学力 期試験は、学外試験場でも実施します。

学外試験場(学力 期)		
	A 日程	B 日程
栄	2月1日(日)2日(月)	2月7日(土)
浜松	2月1日(日)2日(月)	—

